

# 第7回地域づくり政策セミナー

●去る令和3年1月18日(月)、(一社)九州地域づくり協会主催の第7回地域づくり政策セミナー「激甚災害への対応とコロナ禍における地域づくり」は、昨今のコロナ感染拡大、福岡県への緊急事態宣言発令を受け、急ぎよ会場参加者をWeb受講に変更し、200名を越える完全Web受講で開催致しました。

●初めに虫明名誉教授による基調講演「近年の激甚災害と地域ぐるみの防災対策のあり方」、次に防災・減災に関する事例報告として、①九州地方整備局、②人吉市長、③九州大学杉本准教授よりご報告頂きました。

続くパネルディスカッションでは、『近年の激甚災害から得られた教訓』について、三谷教授のコーディネートのもと、各パネリストや虫明名誉教授より、4つの切り口(①昨今の激甚災害に対する印象・意見、②度重なる激甚災害経験後の災害への備えや防災、③社会的情勢の変化、特にコロナ禍の状況下における変化、④これからも発生するであろう激甚災害への備え)への重要な示唆を頂きました。



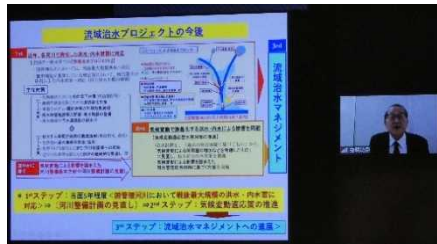
(主催挨拶)  
九州地域づくり協会  
田中 理事長



(来賓挨拶)  
九州地方整備局  
堂蘭 企画部長



(Zoomによるパネルディスカッションの様子)  
左上より右へ、杉本 めぐみ氏、虫明 功臣氏、三谷 泰浩氏  
左下より右へ、岡野 秀之氏、松岡 隼人氏、堂蘭 俊多氏



(基調講演) 東京大学名誉教授 虫明 功臣 氏



(事例報告1) 九州地方整備局  
統括防災調整官 光武 孝弘 氏



(事例報告2) 人吉市長 松岡 隼人 氏



(事例報告3) 九州大学男女共同参画推進室  
准教授 杉本 めぐみ 氏



(パネルディスカッション会場の様子)  
左より右へ、三谷泰浩氏、岡野秀之氏、堂蘭 俊多氏、光武 孝弘氏  
※リモート参加は、虫明 功臣氏、松岡 隼人氏、杉本 めぐみ氏





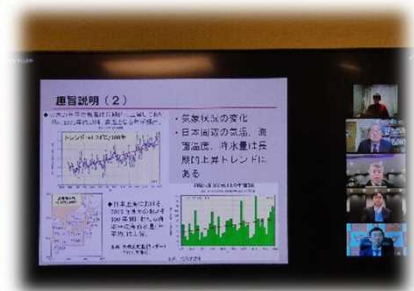
(コーディネータ) 九州大学大学院 三谷教授



(パネラー) 九州地方整備局 堂蘭企画部長



(パネラー) 福岡人吉市長



## パネルディスカッションのまとめ・総括

### これからの災害に備えて(1)

- 自助・共助・公助の機能向上
  - これまでの常識は通用しない「まさか」をなくす
  - 経験値を変える、意識を変える
- 事前準備, 予防保全→「減災」の重要性
  - 「減災」についてもう一度考えてなおすこと
- 地域のコミュニティ(近くの連携)
  - 災害に屈しない地域を目指す
- 適切な情報提供
  - 情報を伝える(収集)
  - 情報が伝わる(伝達)

### これからの災害に備えて(2)

- 広域防災の重要性
  - 縦割りの克服, 流域治水, 補完・連携,
  - 広い形での連携, 視点を変える
  - インフラ整備も無視できない
- 息の長い支援の必要性
  - 災害が大きくなることで後処理も時間がかかる
- 新型コロナウイルスによる社会の抜本的変革
  - 社会経済活動・人との接触の制限
  - リモートの活用(遠隔地からの支援)
  - 新しい: 秩序, 生活様式, 観点の創出



(パネラー) 九州大学男女共同参画推進室 杉本准教授



(パネラー) (公財)九州経済調査協会 岡野事業開発部長



(アドバイザー) 虫東京大学 虫明名誉教授